

★★★ <知的財産翻訳検定【第4回<和文英訳>試験】>問題 ★★★

《選択課題「電気・電子工学分野」》

【解答にあたっての注意】

1. \*\*\*START\*\*\*から\*\*\*END\*\*\*までを英訳してください。
2. 解答語数に特に制限はありません。
3. 課題文に段落番号がある場合、これを訳文に記載してください。
4. 課題に図面が添付されている場合、該当する図面を参照してください。★「課題図表の表示／非表示」リンクで表示

【問1】

課題図表1を参考にして（※「課題図表1の表示／非表示」リンクで表示）、次の請求項を米国出願用のクレームとして、STARTからENDまで英訳しなさい。

\*\*\*START\*\*\*

【請求項1】

ネットワーク上の認証サーバ、処理サーバ、ストレージ装置と通信自在であり、外部機器と上記ストレージ装置とをストレージ接続するネットワークストレージアクセス用端末であって、上記外部機器と通信を行うためのインタフェース部と、上記認証サーバとの間で所定の認証処理を行う認証処理部と、上記処理サーバよりストレージ装置の接続先情報を受け、当該接続先情報に基づいてネットワーク上のストレージ装置との間でパスを張り、更に上記外部機器に対して上記ストレージ装置の記憶領域に係るフォルダ名や権限の情報を少なくとも含むストレージ情報を送信し、当該外部機器に対して接続先のストレージ装置を確認させる無線接続処理部と、上記外部機器よりデータを受けた場合に、所定のデータ処理、変換を行い、ストレージ接続先のストレージ装置に送信するデータ処理・変換部と、を有することを特徴とするネットワークストレージアクセス用端末。

\*\*\*END\*\*\*

#### 【資料】

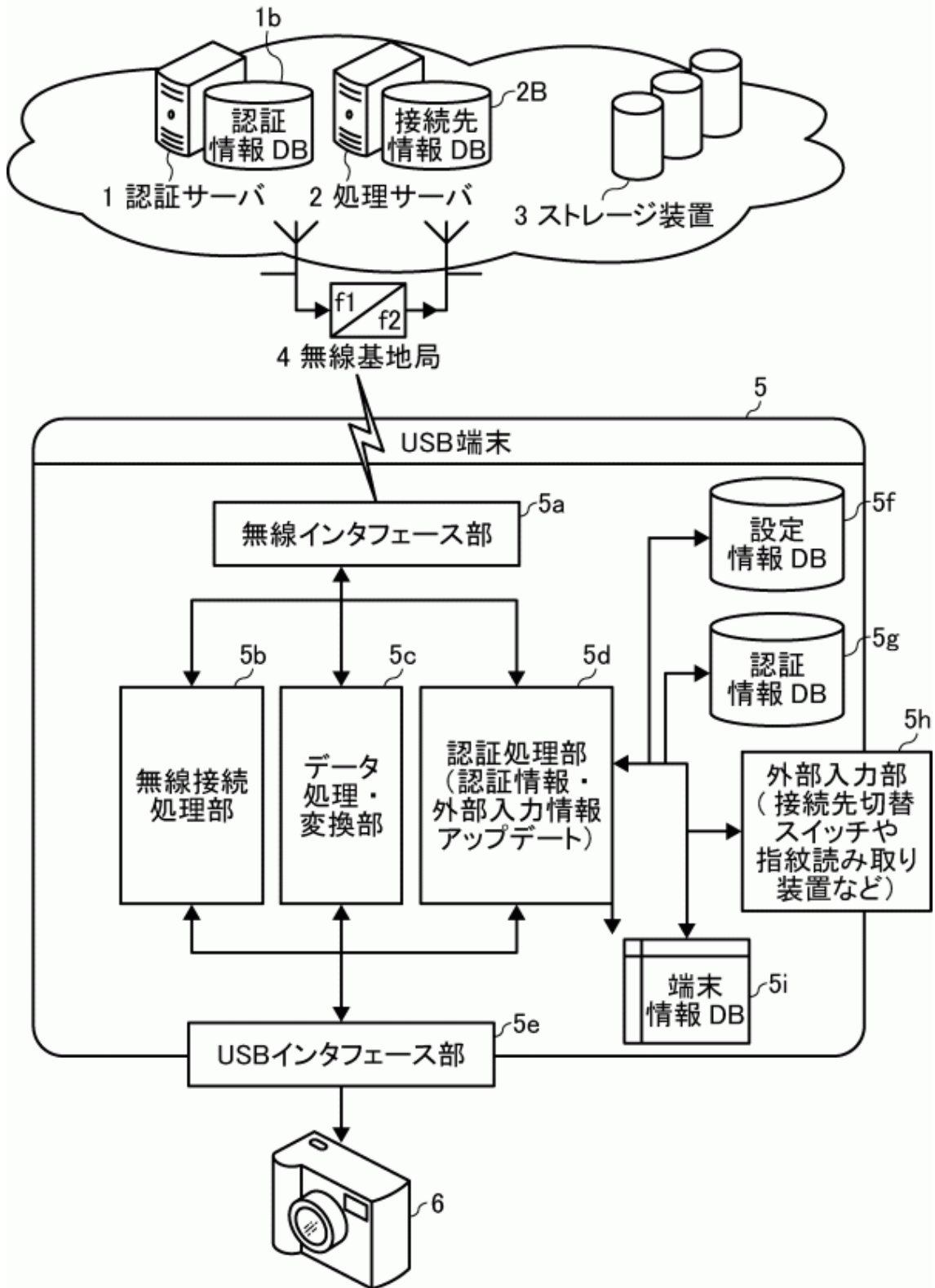
本発明の一実施の形態によれば、ネットワーク上の認証サーバ1や処理サーバ2、ストレージ装置3と無線基地局4を介して通信自在であり、PC 或いはデジタルカメラ等の非PCである外部機器（デバイス）6とストレージ装置3とをストレージ目的で接続する為のUSB端末5であって、デバイス6と通信を行うUSBインタフェース部5eと、認証サーバ1との間で所定の認証処理を行う認証処理部5dと、処理サーバ2よりストレージ装置3の接続先情報を受け、当該接続先情報に基づいてネットワーク上のストレージ装置3との間でパスを張り、更にデバイス6に対してストレージ装置3の記憶領域に係るフォルダ名や権限の情報を少なくとも含むストレージ情報を送信し、当該デバイス6に対して接続先のストレージ装置3を確認させる無線接続処理部5bと、デバイス6より例えば画像ファイル等のデータを受けた場合には、所定のデータ処理、変換を行い、ストレージ接続先のストレージ装置3に送信するデータ処理・変換部5cとを有することを特徴とするUSB端末が提供される。

また、外部機器6の種別によって、接続先情報を決定してもよい。

#### 課題図表 1

【図1】

【問. 1-図1：<課題図表1>】



**【問 2】**

次は背景技術に関わる文である。米国出願用の英文明細書として START から END まで英訳しなさい。

**\*\*\*START\*\*\***

入力光の周波数（波長）を一定量だけシフトすることが可能な光周波数シフタは、光通信システム、光計測装置、分光装置等の広範囲な光エレクトロニクスや量子エレクトロニクスなどの分野において非常に重要なデバイスの一つである。こうした光周波数シフタのために、これまで様々な光周波数シフトの手法が提案されている。

例えば現在市販されている光周波数シフタとして音響光学効果を利用したものがある。これは、結晶中を伝搬する音波（疎密波）による光の回折現象を利用するものであるが、この原理による光周波数シフタはその動作周波数の上限が数百MHzと低い。これは、高周波領域では結晶中での音波の伝搬損失が非常に大きくなるという問題とともに、1GHz程度以上の高周波領域では音波の波長が光波の波長に比べて小さくなって回折が起こらなくなるという根本的な問題に起因している。したがって、こうした光周波数シフト方法では光周波数シフト量を大きくすることは不可能である。

**\*\*\*END\*\*\***

**【問 3】**

次は実施例に関わる文である。課題図表 2 を参考にし（※「課題図表 2 の表示／非表示」リンクで表示）、米国出願用の英文明細書として START から END まで英訳しなさい。

**\*\*\*START\*\*\***

図 1 において、局部発振回路 10 は、コイル L 及びコンデンサ C1 から成る LC 共振回路と、

該コイル  $L$  とコンデンサ  $C1$  により発生する振動電流を、増幅するトランジスタ  $TR$  とから構成されている。ここで、コイル  $L$  は、その一端が、ダイオード  $D4$  を介してアース接続されると共に、抵抗  $R2$  を介して、同調電圧  $VT$  が印加されるようになっている。また、該コイル  $L$  の他端は、ダイオード  $D3$  及び抵抗  $R1$  を介してアース接続されていると共に、該ダイオード  $D3$  と抵抗  $R1$  の間が、コンデンサ  $C1$  の一端に接続されている。該コンデンサ  $C1$  は、その他端が、トランジスタ  $TR$  のベースに接続され、且つ抵抗  $R5$  を介してアース接続されている。該トランジスタ  $TR$  は、そのコレクタが、抵抗  $R3$  を介して定電圧電源  $+B$  に接続されていると共に、抵抗  $R4$  を介してベースに接続されている。また、該トランジスタ  $TR$  のエミッタは、それぞれコンデンサ  $C2$  及び抵抗  $R6$  を介してアース接続されている。

\*\*\*END\*\*\*

課題図表 2

【図1】

【問.3-図1 : <課題図表2>】

